

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	外出における職員体制面での難しさが増すため、支援要員として家族はもとより、ボランティア等の活用について検討されてはどうか。	それぞれのご利用者の心身の状況を考慮しながら、一人ひとりのその人らしさ、ニーズに合った外出の機会が持てるよう、前向きな外出支援を検討する。	昨年度からの継続した取り組みであるが、ご家族や地域の方との時間づくり(外出・訪問・イベント)を積極的に行うことにより、継続して、ご利用者の暮らしをともに考えていける関係づくりをすすめていく。 ①たのやまだより作成により、ご利用者の暮らしを分かりやすく伝える。また、24年度より、次月のイベント、外出などの計画について、たのやまだよりに掲載し、ご家族に参加を呼びかけていく。 ②グループホームの環境や雰囲気づくを工夫し、人が集える場所、また来たいと思える空間づくりをすることで、ご利用者の暮らしの幅を広げる。 ③スタッフ間の連携、カンファレンスのあり方を見直し、前向きな外出支援について検討していく。 ④地域で認知症の方へのボランティア活動、サロン活動などを行っておられる方と話し合いの機会を持ち、外出やイベント、日常のかかわりなどにおけるボランティア導入について検討していく。	12ヶ月
2	3	ゲストを呼び、タイムリーなテーマについて情報交換や意見交換の機会を持ってはどうか。	運営推進会議を通じて、グループホームへの理解を深めるとともに、地域とのつながりを深め、支え合える関係へとつなぐ。 また、会議を通じて、スタッフの地域へ向けた視野を広げ、積極的な地域実践へつなぐ。	運営推進会議にて、この課題について提案し、会議の今後の方向性について検討する機会を持つ。また、これまで数年間の会議の流れや、メンバーとの信頼関係を大切にしながら、会議でのメンバーからの意見(地域における認知症ケアの課題や問題点)をもとに、認知症の方やそのご家族への理解を深めるための地域実践について検討する。 また、併設する他の地域密着型サービスにおいても、それぞれに運営推進会議を行っているため、互いに情報交換を行う中で、会議の充実について考えていきたい。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。